

英語科学習指導案

令和2年9月29日(火) 第3校時(10:50~11:40) 2年4組 指導者 ○○ ○○
ALT ○○ ○○

I 単元名 Unit4 Homestay in the United States (New Horizon English Course 2)

II 学習指導要領上の位置付け

目標 (4) 話すこと [発表]

(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

内容 オ 話すこと [発表]

(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。

III 目標

(1) 自分の今までの生活について振り返り、具体的な改善宣言を考えている。(関心・意欲・態度)

(2) 助動詞やそれに準じた表現を用いたり、情感を込めて話したりすることができる。(表現)

(3) クラスメイトからのアドバイスの内容を理解することができる。(理解)

(4) 助動詞やそれに準じた表現を用いた肯定文・疑問文・否定文について形や用法、文構造について理解している。(言語・文化)

IV 指導計画 ※別紙参照

V 教材観

助動詞(will・must)やそれに準じた表現(have to)は、自分の意思や気持ちをより詳しく伝えたり、誰かに言われた際にはその行動の必要感を増したりするものである。今年度は休校期間から分散登校、通常登校といったこれまでとは異なる生活の中で、学習面や生活面においてリズムの崩れを感じる生徒や、未だにその崩れを引きずっている生徒もいる。定期テストへの準備や取り組みが不十分だったり、結果が思わしくないと感じたりしている生徒も多い。そこで、2学期の中間テストに向けて、自身の生活改善を発表することを単元の課題として設定することで、新出表現の必要性を感じたり、自分の生活を振り返ったりすることができるようにしたい。

VI 本時の展開 (9/10)

1 ねらい

助動詞やそれに準じた表現を用いて、情感を込めてテストに向けた生活改善宣言を発表することができるようにする。

2 展開

学習活動(分) ○:留意点 点線囲:評価 ☆:振り返りの子どもの意識

1 あいさつ、ウォームアップをする。(5分)

(1) Mini Talk を行う。

○一回目の活動の後に、表現できなかったことや間違いを指導・修正し、相手を替えてもう一度活動をさせる。

2 本時のめあてをつかむ。(5分)

○これまでの学習内容を振り返り、ポイントとなる表現を想起させる。

○教師による生活改善宣言のデモを見て、活動のイメージをつかませる。

本時のめあて

中間テストに向けて、自分の生活改善宣言をしよう。

3 自分の生活改善宣言の発表に取り組む。(35分)

(1) ペアでお互いに発表に取り組む。

(2) 中間評価を行い、他の生徒のよい例を示したり、よかった点を問いかけたりして全体で共有させる。

(3) 取組を見直したあと、ペアを変えて再び活動に取り組ませる。

○適宜、これまでに学習した表現(by 10 p.m.、before～、after～、that much、too much など)を振り返り、新たなペアでの活動に取り入れられるようにする。

◇学習した表現を使い、情感を込めて生活改善宣言をしている。

<関心・意欲・態度/表現>

4 本時のまとめ・振り返りをする。(5分)

○発表で聞いたり話したりしたことを振りかえらせるために、Grow Up Sheet (振り返りのワークシート)を使う。

☆助動詞を使って、うまく宣言ができた。【言語面】

☆友人の宣言を聞き、自分もがんばろうと思った。【内容面】

<p>目標</p>	<p>・休校中からこれまでの自分の生活について振り返り、中間テストに向けてより良い生活にするために生活改善宣言ができるようにする。</p> <p>新学習指導要領より オ 話すこと [発表] (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。</p>			
<p>評価規準</p>	<p>(1) 自分の今までの生活について振り返り、具体的な改善宣言を考えている。(関心・意欲・態度) (2) 助動詞やそれに準じた表現を用いたり、情感を込めて話したりすることができる。(表現) (3) クラスメイトからのアドバイスの内容を理解することができる。(理解) (4) 助動詞やそれに準じた表現を用いた肯定文・疑問文・否定文について形や用法、文構造について理解している。(言語・文化)</p>			
<p>過程</p>	<p>時間</p> <p>○ねらい めあて</p>	<p>☆振り返り (意識)</p>	<p>◇評価項目 <方法・観点></p>	
<p>つかむ</p>	<p>1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><単元の課題> 中間テストに向けて、生活改善宣言をしよう。</p> </div> <p>○2年生の勉強についてのアンケート結果を見て、それを元に、自分の生活をマッピングや時系列を用いて振り返ることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>アンケート結果から、自分の生活について振り返ろう。</p> </div>	<p>☆「きっと～するぞ！」はどう言えいいのかな。【言語面】</p> <p>☆休校の影響で、今でもストレスや生活の乱れを感じている人がいると分かった。【内容面】</p>	<p>◇アイデアマップや時系列の作成をおおして、自分の生活を振り返り、今後に向けて抱負を述べている。 <観察・GrowUpSheet(関)></p>	
<p>追究する</p>	<p>2</p> <p>○生活改善に向けて、「しなければならないこと」を (don't) have to を使ってペアで伝え合ったり、アドバイスをしたりすることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>クラスメイトに生活改善のアドバイスをしよう。</p> </div> <p>例文：(I think) You have to do your homework before watching TV. You don't have to play games before going to bed.</p>	<p>☆「～しなければならない」を have to を使って表すことがわかった。【言語面】</p> <p>☆ペアの人にアドバイスをしてもらえて嬉しかった。【内容面】</p>	<p>◇相手の生活時系列を見て、生活改善のためのアドバイスをしている。 <観察・ワークシート(言・理)></p>	
<p></p>	<p>3</p> <p>○had to や didn't have to, has to, doesn't have to を使って、より幅広く表現ができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>しなかったこと・しなくてもよかったことを表現しよう。</p> </div> <p>例文：Did you have to wash the car yesterday? I had to walk my dog last Sunday. She doesn't have to walk her dog yesterday.</p>	<p>☆過去の表現にするには、have を変化させると分かった。【言語面】</p> <p>☆自分の生活にはしなくてもよいものがけっこうあることがわかった。【内容面】</p>	<p>◇過去の表現を織り交ぜながら、第三者や自分のことについて表現をしている。 <観察・ワークシート(言)></p>	
<p></p>	<p>4</p> <p>○生活改善のために、今日帰宅したらすることを宣言することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>生活改善のために、今日帰宅したらすることを宣言しよう。</p> </div> <p>例文：I will finish my homework before taking a bath. I will go to bed by 10 p.m.</p>	<p>☆「きっと～するぞ！」や未来のことを言うには will を使うということがわかった。【言語面】</p> <p>☆今日宣言したことを実行したい。【内容面】</p>	<p>◇will を用いて、帰宅後の宣言を気持ちを込めてしている。 <観察・ワークシート(言)></p>	
<p></p>	<p>5</p> <p>○教科書を読み、ホームステイにおける注意点について理解することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>教科書 P.54/56 を読み、ホームステイについて知ろう。</p> </div>	<p>☆ホームステイ先では、自分でベッドを整えることがわかった。【内容面】</p>	<p>◇資料や教科書を読み、ホームステイについて理解している。 <ワークシート(理)></p>	
<p></p>	<p>6</p> <p>○家族や教師が普段どのようなことをしなければならないと言っているかを考え、must を使って表現することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>家族や先生たちが、普段何をしなければならないと言っているか振り返ろう。</p> </div> <p>例文：My mother says "You must finish your</p>	<p>☆命令や義務を表すには、must を使うと分かった。【言語面】</p> <p>☆ほかの家で言われていることが分かり、おもしろかった。【内容面】</p>	<p>◇must を使って、身の回りの人たちが普段何を言っているかを考え、表現している。 <観察・ワークシート(言)></p>	

	homework before dinner.” Mr. Shimada says “You must study every day.”		
	7 ○生活改善のために、「してはならないこと」を考え、ペアでお互いにアドバイスをし合うことができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">生活改善のために、『してはならないこと』を考えよう。</div> 例文 : I must not stay up late. I must not play video games before finishing homework.	☆must not で強い命令を出せると分かった。【言語面】 ☆友達に強く言ってもらって、「してはならないこと」をしないようにしようと思った。【内容面】	◇must not を使って、ペアに「してはいけないこと」を伝えている。 <ワークシート(言)>
	8 ○教科書を読み、登場人物のホームステイ中の生活について理解することができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">教科書 P.58/60 を読み、サマースクールのサキとカルロの生活について知ろう。</div>	☆いろいろな家族がいるが、良さを見つけることが大切だと思った。【内容面】	◇教科書を読み、登場人物の悩みや解決策について理解している。 <ワークシート(言)>
まとめる	9 本時 ○助動詞やそれに準じた表現を用いて、情感を込めてテストに向けた生活改善宣言を発表することができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">中間テストに向けて、自分の生活改善宣言をしよう。</div>	☆助動詞を使って、うまく宣言ができた。【言語面】 ☆友人の宣言を聞き、自分もがんばろうと思った。【内容面】	◇学習した表現を使い、情感を込めて生活改善宣言をしている。 <観察(関・表)>
	10 ○前時の生活改善宣言を書いてまとめることができる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">生活改善宣言を書き、家の人に見せる準備をしよう。</div>	☆文法に気をつけて書いた。【言語面】 ☆家族にも宣言を知ってもらって、がんばりたい。【内容面】	◇前時で発表したことを元に、生活改善宣言を書いてまとめている。 <ワークシート(言)>

【最終活動の例文】

This is my plan for the test!

I WILL finish my homework before watching TV!

Until now, I didn't finish my homework before watching TV. And, I played games for three hours.

I want to change my lifestyle!

First, I have to be careful with my time. Second, I must not play games before I do my homework.

Next, I must study every day. It's not fun, but I will try hard.